

国語 第3学年 本は友だち

授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。光村図書の令和6年度版年間指導計画に基づく1学期の授業案。教材本文・台詞・挿絵・問題文は転載していない。

この単元で子どもが最後にできるようになること

本で確かめた知識を相手に伝え、読書から得た気付きの違いを共有する。学習の記録は、自作クイズと根拠となる本の記録である。

学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

学習指導要領の項目	原文
〔第3学年及び第4学年〕〔知識及び技能〕(3)オ	オ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。
〔第3学年及び第4学年〕C 読むこと(1)カ	カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。

単元の目標

幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。（〔知識及び技能〕(3)オ）

文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。（C(1)カ）

本で確かめた知識を相手に伝え、読書から得た気付きの違いを共有する学習の中で、言葉への関心を持ち、自分の取り組みを見直そうとする。

評価規準（3観点）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。（〔知識及び技能〕(3)オ）	①「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。（C(1)カ）	①本で確かめた知識を相手に伝え、読書から得た気付きの違いを共有する学習に進んで取り組み、友達の反応や自分の記録を確かめながら、言葉の使い方や捉え方を見直そうとしている。

単元の流れ

光村図書の年間指導計画による全5時間（読5）。総時数は公式資料に従う。各時の配分と本時の選定は、本案による授業配当の提案である。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1	○教材と学習に使う言葉を確認、問いについて今の考えを話す。単元の終わりに残す記録を確認、学習の見通しをもつ。	学習状況を見て支援する。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第2次	2	○教材や選んだ科学読み物を読み、知ったことと出典を記す。必要な語や材料を集め、関係を整理する。	知①（言葉・文字・資料の扱いを確かめる活動）
第3次	3～4 （本時）	○教材や選んだ科学読み物を読み、知ったことと出典を記す。本文から答えを確かめられる自作クイズを作り、答え合わせの際に驚いた点や新しく知った点を伝え合う。	思①（発言・活動中の記録・作成物）
第4次	5	○選んだ言葉と、そこから考えたことの関係を自分の言葉で説明する。異なる考えは根拠を確かめて聞く。学習で確かめたことを別の文章や場面でどう使うかを話す。	態①（学習前後の記録と見直しの理由）



本時の案

本時の目標：文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(C(1)力)

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
導入 (分)	教材と学習に使う言葉を確認、問いについて今の考えを話す。 ○「答えの根拠は、本のどの説明にありますか」 【めあて】本で確かめた知識を相手に伝え、読書から得た気づきの違いを共有する。 〈予想される児童の反応〉 ・正解だけでなく理由も読むと分かった。	最初の言い方や記録を残し、授業後の考えと比べられるようにする。正答を先に示さず、扱う言葉と課題を確認する。
展開 (分)	○「答えの根拠は、本のどの説明にありますか」 教材や選んだ科学読み物を読み、知ったことと出典を記す。本文から答えを確認められる自作クイズを作り、答え合わせの際に驚いた点や新しく知った点を伝え合う。選んだ言葉と、そこから考えたことの関係を自分の言葉で説明する。異なる考えは根拠を確かめて聞く。 〈予想される児童の反応〉 ・正解だけでなく理由も読むと分かった。 ・友達は別の説明に注目していた。	答えが本で確かめられる範囲の問いにする。図や本文は複製せず、自分の言葉で問題と説明を書く。 想定する難しさ：難しい問題を作ることだけを目標にし、本の根拠を示さない。 評価では、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いているかを、自作クイズと根拠となる本の記録と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。 ◎思① 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(発言・活動中の記録・作成物)
まとめ (分)	【まとめ】問いへの答えを、今日確かめた言葉や表現を含めて話す。 自作クイズと根拠となる本の記録を見返し、初めと変わった点や、そのまま残した理由を確かめる。 〈予想される児童の反応〉 ・友達は別の説明に注目していた。	教師のまとめを写すだけにせず、本人が選んだ言葉と理由を確かめる。態度は本時だけで決めず、単元を通した取り組みと調整の記録を合わせて判断する。 ◎態①（最初と最後の記録、見直しの理由）

板書の構造（縦書き・右から左へ）

縦書きで、右から左へ学習の流れを配置する。右端に題名とめあて、その左に問い「答えの根拠は、本のどの説明にありますか」。中央は、自作クイズと根拠となる本の記録に必要な言葉・材料と、考えた理由を対応させる。本文を扱う場合は先生が手元の教科書から必要な範囲を示す。左側に比べて気付いた点と見直した箇所、左端に本時で確かめたことを置く。

つまずきやすい所と手当て

難しい問題を作ることだけを目標にし、本の根拠を示さない。この難しさには、答えが本で確かめられる範囲の問いにする。図や本文は複製せず、自分の言葉で問題と説明を書く。評価では、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いているかを、自作クイズと根拠となる本の記録と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

プリントの案

本時の記録 自作クイズと根拠となる本の記録を残す欄を用意する。教材本文や図を複製せず、自分の言葉や印で記録する。
比べて確かめたこと 最初の考えや表現、友達からの反応、確かめた言葉、最後に選んだ考えや表現を対応させる。書く負担が大きい場合は口述や指差しも教師が記録する。

出典：光村図書 令和6年度版 年間指導計画。教材名・時期・総時数・目標の出典。年間指導計画例 Excel（3年）「3年上巻」100行目（https://www.mitsumura-tosho.co.jp/download_file/view/7ff6b471-db8d-470a-968a-a9899624022a/368）／文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）。保存した公式原文と学年段階・項目を照合。
（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm）／国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語。評価の観点と記録の考え方。
（https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf）
AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

